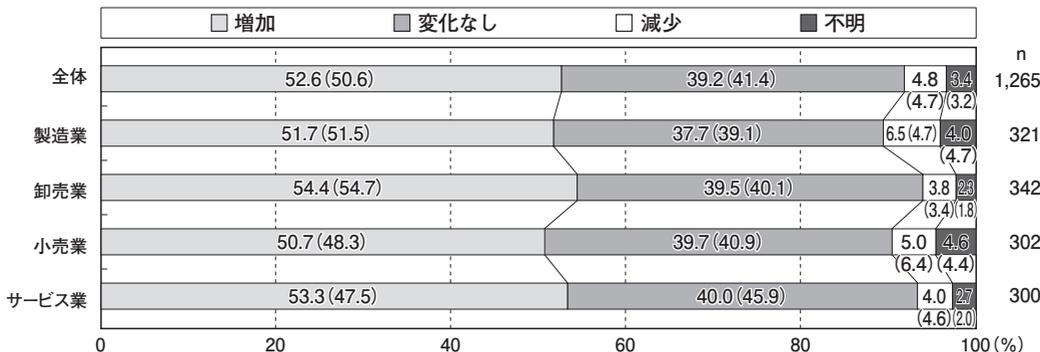


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）12月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体で見ると、「増加」が52.6%（前回調査50.6%）と最も高く、「変化なし」が39.2%（同41.4%）、「減少」が4.8%（同4.7%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



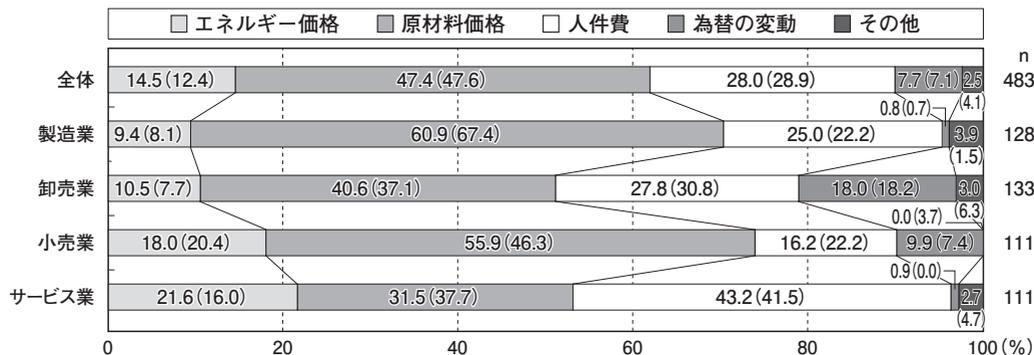
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和6年12月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体で見ると、「原材料価格」が47.4%（前回調査47.6%）と最も高く、「人件費」が28.0%（同28.9%）、「エネルギー価格」が14.5%（同12.4%）、「為替の変動」が7.7%（同7.1%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が60.9%（同67.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の18.0%（同18.2%）、サービス業は「エネルギー価格」の21.6%（同16.0%）と「人件費」の43.2%（同41.5%）がそれぞれ高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）(図表8)で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。()内は前回調査(令和6年12月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。